

プラスチック分別回収のモデル事業 について

台東区清掃リサイクル課

○プラスチックを資源回収する背景・目的

プラスチックが与える環境への影響

大量生産・大量消費



石油資源の枯渇

ごみとして焼却処理



温室効果ガス排出 焼却灰の埋立による最終処分場のひっ迫

ポイ捨て・不法投棄



海洋汚染 生態系への影響

▶ 国際的な動向

2015年 9月 「持続可能な開発目標（SDGS）」採択
目標12「つくる責任 つかう責任」

2016年11月 「パリ協定」発効

⇒日本の目標「温室効果ガスの排出量を、2030年度までに2013年度比で26%削減する」

▶ 国の動向

2021年 6月 「プラスチック資源循環促進法」の成立（令和4年4月施行）

▶ 東京都の動向

2019年12月 「ゼロエミッション東京戦略」策定

⇒ワンウェイプラスチック累積25%削減 など

○ プラスチック分別回収のモデル事業 実施概要

- ・ 分別区分：燃やすごみ（プラスチック類のみ）
資源（食品発泡トレイ・カップ）



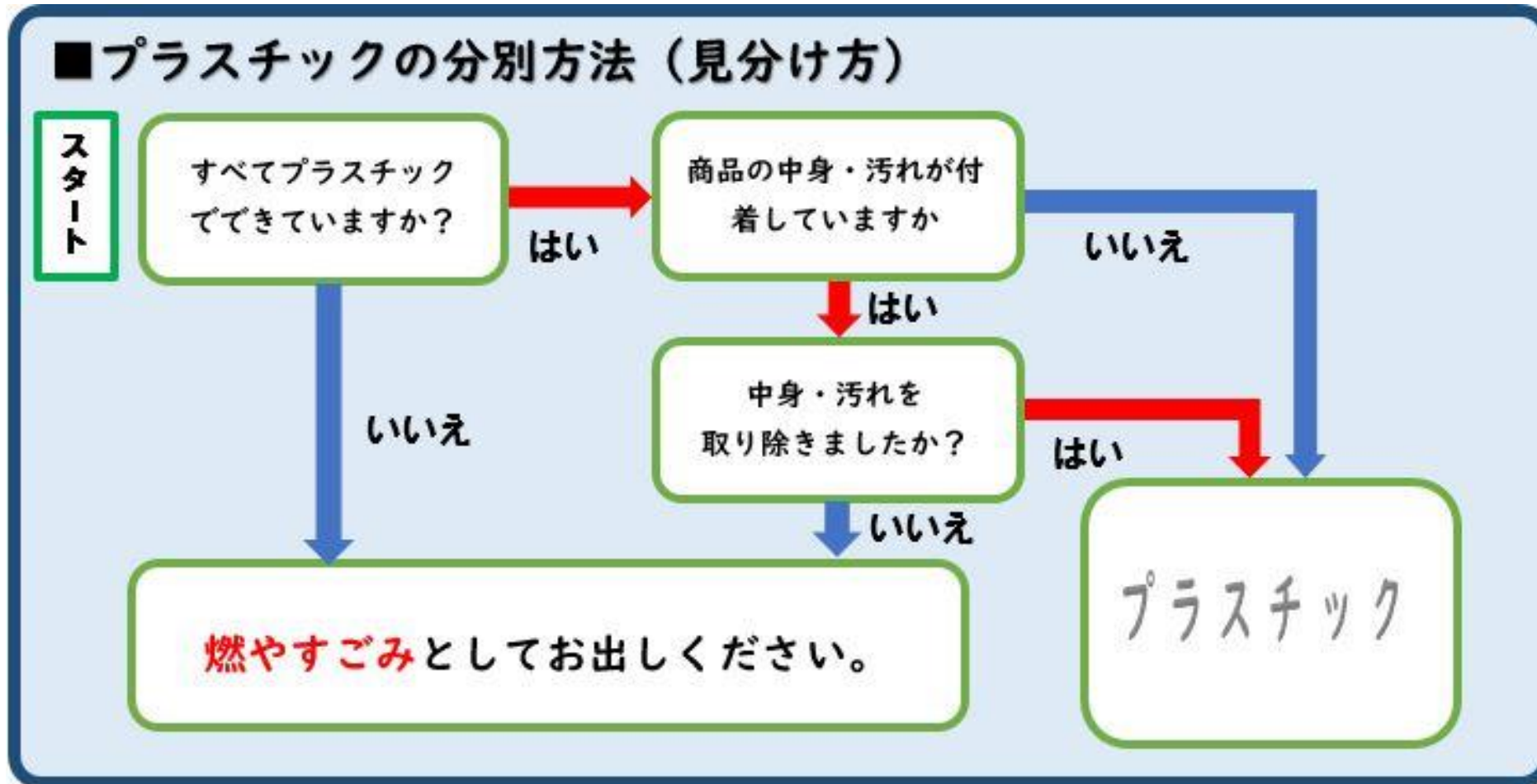
プラスチック

- ・ 分別時期：令和4年10月から
- ・ 出し方：「プラスチック」と表示した、ごみコンテナを用意するので、透明な袋に入れてお出してください。
- ・ 回収時期：令和4年10月7日（金）から（週に1回 毎週金曜日に回収）

○資源として回収するプラスチック

<p>袋類 菓子袋、パン袋、レジ袋など</p> 	<p>パック類 卵、豆腐、持ち帰り弁当などの容器</p> 	<p>トレイ・カップ類 魚トレイ、カップ麺、ゼリーなどの容器</p> 	<p>ボトル類 シャンプー、リンス、洗剤などの容器</p> 
<p>キャップ・ラベル類 ペットボトルのふたやラベルなど</p>  <p>※ペットボトル本体は別途資源回収へ</p>	<p>発泡スチロールの箱や緩衝材など 梱包材や箱物容器など</p> 	<p>CDやDVDケース プラスチックハンガー</p> 	<p>チューブ類 マヨネーズや歯磨き粉のチューブなど</p> 
<p>30cm未満のバケツやお風呂用品</p> 	<p>その他 プラスチック製品 ケース、おもちゃ、定規、プラスチック製の食器類 など</p> 		

○プラスチックの分別方法について (見分け方) ※ プラマークが付いているものは対象です。

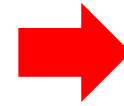
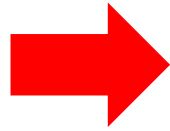
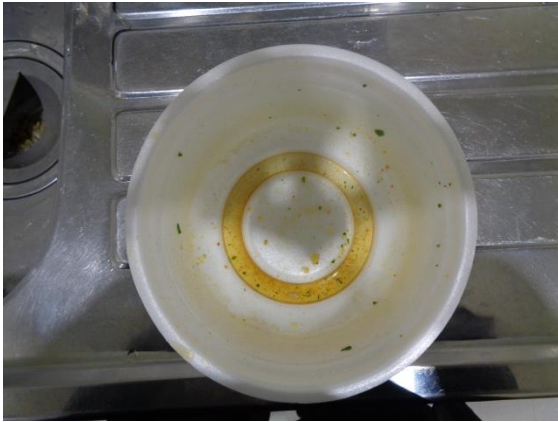


○出し方のポイント (♻️ プラマーク)

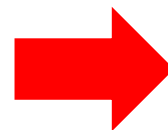
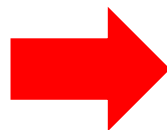


○出し方のポイント（カップ麺）

※カップ麺容器は水ですすいで汚れをおとしてください。



○出し方のポイント（ボトルドレッシング）



○出し方のポイント（間違えて出しやすいもの）



紙の容器



ネジや電池が入ったおもちゃ
(電池は取り除いてください)



金具がついている文房具 など

➡ 燃やすごみにお出しください

○プラスチックとして出せないもの（例）

- ▶ 水ですすいで汚れがおちない容器



- ▶ 「燃やすごみ」でお出してください

- ▶ ビニール傘



- ▶ 「燃やさないごみ」でお出してください

- ▶ カミソリなど



- ▶ ペットボトル



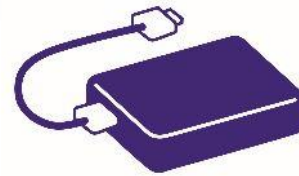
- ▶ 「資源」でお出してください

- ▶ 在宅医療で使用した注射器など



- ▶ 「使用済み注射針回収薬局」と掲示してある薬局へ返却

- ▶ モバイル電池



- ▶ 家電量販店やホームセンターの回収ボックスへ

○プラスチック回収の流れ

回収したプラスチック



中間処理施設にて選別・圧縮・梱包・保管



再生樹脂



パレット



コークス



R P F (固形燃料)

○主な資源化物について



【再生樹脂】

再びプラスチック材料として使用されるもの。



【パレット】

物品をフォークリフトやトラックなどで運ぶなど、倉庫に保管するため、単位数量にとりまとめて載せる面をもつ台として利用される。



【コークス炉化学原料（工業原料）】

異物の除去、破碎等の処理をし、コークス炉で用いる原料炭の代わりとする。
これを石炭といっしょにコークス炉に投入し熱分解することで、コークス（還元剤）
炭化水素油（化学原料）、ガス（発電）などの工業原料が得られる。



【RPF（固形燃料）】

石炭の代替素材として、主に製紙メーカーやセメント会社で利用されている。
石炭に比べ、約33%の二酸化炭素削減効果があり、石炭の代わりに使用することで、枯渇性資源の節減にもつながる。

○モデル事業の実態調査・アンケート調査について

▶ 1 組成調査

ごみ保管場所から出されたごみ・プラスチックを何がどれくらいあるかを調査します。

回収日：9月15日（木）、10月13日（木）、11月17日（木）の3回

※9月15日は燃やすごみ・燃やさないごみのみ調査します。

2 排出量調査

協力世帯が出したプラスチックを回収し、1人あたりどの位出すかを調査します。

回収日：11月24日（木）

3 意識調査

マンション全世帯対象にプラスチック回収に関するアンケート調査を実施します。

調査期間：11月中旬～11月30日（水）

○ 排出量調査のご協力をお願い

1. 協力世帯の募集

説明会終了後、排出量調査にご協力いただける世帯を募集します。

ご協力いただける場合は、お名前、部屋番号、世帯人数をお伺いします。

2. 調査セットの配布

後日、調査セット（専用回収袋、専用シール、説明用チラシ）を郵便受けに投函します。

※専用シールには、お名前や部屋番号など個人が特定できないように配慮いたします。

3. ご家庭でのご準備

11月18日（金）～23日（水）までの6日間で発生したプラスチック資源を専用回収袋に入れてください。

4. 調査当日

11月24日（木）早朝に専用シールを専用回収袋に貼り付けてお出してください。

専用回収袋の排出場所は、マンション管理人様と調整のうえ、調査セットの説明用チラシにてお知らせします。